

会議録（１）

会議の名称	令和7年度第1回飯能市下水道事業審議会
開催日時	令和7年10月15日（水） 開会 午前10時00分 閉会 午前11時30分
開催場所	飯能市役所本庁舎2階 入札室
議長氏名	佐野 純一
出席委員	前田 悦子 木崎 稔生 佐野 純一 栗原 久美子 篠田 香都子 佐武 泰史 関 邦彦
欠席委員	吉田 智之
説明者の職氏名	下水道課長 原田 忠彦 下水道課主任 増岡 佑作
傍聴者の数	1人
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	上下水道部長 齊藤 昌幸 下水道課長 原田 忠彦 下水道課主幹 進藤 司 下水道課主幹 高橋 大基 下水道課主任 増岡 佑作 下水道課主任 中村 灯

会議録（２）

議事録の概要（経過）・決定事項

1 開会

2 会長あいさつ

3 市長あいさつ

4 諮問書手交

新井市長から佐野会長へ諮問書を手交した。

5 出席職員 自己紹介

6 議事

（１）下水道事業について

（２）経営戦略について

（３）その他

事務局から配布資料の説明後、質疑応答を行った。

7 その他

事務局から今後の予定等について説明をした。

8 上下水道部長あいさつ

9 閉会

会議録（3）

発言者	発言内容
下水道課主幹	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>審議会条例の規定により、佐野会長に議長をお願いし、議事を進めていただきたいと存じます。</p>
議長	<p>それでは、会長、よろしくお願いします。</p> <p>それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いします。</p>
下水道課長	<p>初めに議事（1）「下水道事業について」を議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>—グラフで見る！下水道事業の決算（令和6年度）に基づき説明した。</p> <p>—</p>
議長 委員	<p>ただいまの説明について、ご質問等はございますか。</p> <p>棒グラフ「収益の内訳」について、令和6年度の下水道使用料は令和5年度から約1,000万円増となっておりますが、まだ使用料改定の影響を受ける前かと思えます。主な理由を教えてください。</p>
下水道課長	<p>令和6年度実績を確認しますと、一般家庭や大規模企業よりは中小の飲食店など使用量が中間に位置する企業等の使用量増加が影響しているかと思われます。飲食店の使用量増加につきましてはコロナの影響だけとは限りませんが、お客さんの数も増えているようなのでその影響ではないかと推測しています。</p>
委員	<p>「1 概況（1）総括事項」の金額と、円グラフ「収益的収支の状況（損益計算に関する収益・費用の状況）【税抜】」の金額とで差があるのは税額の関係でしょうか。</p>
下水道課長 委員	<p>おっしゃるとおりです。</p> <p>線グラフ「汚水処理原価と使用料単価」について、汚水処理原価が令和元年度から2年度にかけて減少しているのはなぜでしょうか。また、同じく汚水処理原価が令和4年度から令和6年度にかけて増加している理由を教えてください。</p>
下水道課長	<p>令和元年度から令和2年度にかけて汚水処理原価が減少している要因は複数ありますが、令和元年度に企業会計に移行して未払金等があったことが影響しているかと思われます。</p> <p>令和4年度から令和6年度にかけての汚水処理原価の増加は、ご質問いただいたとおり労務費の上昇や物価高騰が理由のほか、浄化センターの委託料の増加が理由となっています。浄化センターの包括委託が3年契約となりますので、おおむね3年ごとに影響が出る可能性が</p>

委員

あります。

円グラフ「収益的収支の状況（損益計算に関する収益・費用の状況）【税抜】」と円グラフ「資本的収支の状況（建設改良に関する収支の状況）【税込】」から読み取れる下水道事業の経営状況を教えてください。

下水道課長

はじめに円グラフ「収益的収支の状況（損益計算に関する収益・費用の状況）【税抜】」をご覧ください。収益としましては、下水道使用料が約42%となっており、次いで長期前受金戻入となっており、自主財源となる下水道使用料が約42%と半分以下となっているため、公営企業の経営の基本となる独立採算には至っていない状況です。また、一般会計繰入金が約26%と収入の約1/4を占めており、一般会計繰入金が減額してしまうと大変苦しい経営状況になってしまいます。

費用につきましては一番大きいものが減価償却費、次に約27%を占めている委託料となっており、委託料は毎年必要な経費となりますが、人件費の上昇や資材等の物価高騰によって増額する見込みです。そのため、こちらのグラフからは自主財源が少なく経常支出が多いことが分かり、経営の柔軟性がない、独立採算とは乖離しているということが読み取れます。

次に円グラフ「資本的収支の状況（建設改良に関する収支の状況）【税込】」をご覧ください。収入については補てん財源が約62%となっており、補てん財源を切り崩さなければ支出を賄いきれない状況です。また、企業債が約10%、国の補助金が約13%となっており、他からの資金に頼らざるを得ない厳しい状況です。

支出については企業債償還金や管きよ等の工事請負費、委託料などが大きいものとなっており、企業債償還金に関しては、現在は支出の約47%ですが、今後は増加し支出の半分を占める見込みです。工事請負費についても施設の老朽化等により改修が必要なので今後も増額が予想されます。そのため今後も資本投資を行ううえで他の財源等、新たな投資は必要になるものと見込まれます。こちらのグラフからは収入は減少し支出は増加する傾向にあるということが読み取れます。

委員

補てん財源について、貯金してあるものを取り崩しておっしゃいましたが基金のことでしょうか。

下水道課長

留保資金という、繰り越している現金の残高のことです。

委員

留保資金というのは一般的に内部留保と呼ばれるもので、毎年使っているといずれは枯渇するという認識でよろしいでしょうか。

下水道課長

おっしゃるとおりです。

委員

では具体的な経営状況として、今後内部留保が積みあがる可能性もあるのでしょうか。

下水道課長	今回の使用料改定によって留保資金については増加することを目標としておりますが、実際にはほぼ横ばいか若干の増になるかと思いません。
議長	他にご質問等はございますか。
委員	—なしの声あり—
議長	議事（２）「経営戦略について」を議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。
下水道課主任	—「飯能市下水道事業経営戦略プラン（案）」（第１章）に基づき説明した。—
議長	第１章について説明は以上です。ただいまの説明について、ご質問等はございますか。
委員	—なしの声あり—
議長	それでは、第２章について、事務局から説明をお願いいたします。
下水道課主任	—「飯能市下水道事業経営戦略プラン（案）」（第２章）に基づき説明した。—
議長	ただいまの説明について、ご質問等はございますか。
委員	質問ではないのですが、「2-1 下水道事業の沿革」の１行目は「下水道事業を開始されました。」ではなく「事業認可を受け開始されました。」の方が良いと思います。
議長	他にご質問等はございますか。
委員	—なしの声あり—
議長	それでは、第３章について、事務局から説明をお願いいたします。
下水道課主任	—「飯能市下水道事業経営戦略プラン（案）」（第３章）に基づき説明した。—
議長	ただいまの説明について、ご質問等はございますか。
委員	「3-1 業務量の推移」について、処理区域面積、処理区域内人口及び普及率が増加しているなかで年間有収水量がほぼ横ばいになっているのはなぜだと思いますか。
下水道課主任	管きょ整備により処理区域面積は増えておりますが、節水意識が高まっていることが理由かと思えます。
委員	理由がある程度推測できるのであれば、文章にも追記するとより分かりやすいかと思えます。
委員	特定環境保全公共下水道とありますが、公共下水道と違いはあるのでしょうか。また、使用料改定は公共下水道のみなのでしょうか。
下水道課主任	特定環境保全公共下水道とは原市場地区の汚水を処理する施設をいいます。使用料改定についてはどちらも行っております。
下水道課長	施設は分かれています但し使用料、条例はひとつとなっております。

	<p>ただ、2つの施設で処理方法が異なっているためそれぞれで決算の数字を出しております。使用料は、処理方法は異なるものの事業としてはひとつですので区別せず改定を行っております。</p>
委員	<p>「3-9 今後の課題等 (4) 浄化センター処理場用地、永田汚水幹線の今後の方向性」の永田汚水幹線について教えてください。</p>
下水道課長	<p>こちらは当初原市場処理区の汚水を飯能市浄化センターに流す目的で布設されたものです。しかし、事業計画区域の変更により原市場処理区との接続がなくなりましたので、使用方法を検討することが必要となりました。</p>
委員	<p>「3-8 経営比較分析表等を活用した現状分析」の経常収支比率などの数値が令和5年度までしかないのはなぜでしょうか。令和6年度の数値はないのでしょうか。</p>
下水道課長	<p>こちらについては国がとりまとめたデータを使用しておりますので1年ほど遅れが生じており、令和6年度の数値はまだ発表されていない状況です。</p>
委員	<p>飯能市は単独公共下水道なので他の流域下水道と無理に比較しなくても良いかもしれません。</p>
委員	<p>「3-8 経営比較分析表等を活用した現状分析」と「3-9 今後の課題等」で内容が繰り返しになっているように感じるので区別した方が良いと思います。</p>
議長	<p>他にご質問等はございますか。</p>
委員	<p>—なしの声あり—</p>
議長	<p>それでは、第4章について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
下水道課主任	<p>—「飯能市下水道事業経営戦略プラン（案）」（第4章）に基づき説明した。—</p>
議長	<p>ただいまの説明について、ご質問等はございますか。</p>
委員	<p>「4-4 目標値の設定」について、下水道普及率の目標値については現時点で100%になる見込みで計画が進んでいるのでしょうか。再度の使用料改定の可能性はあるのでしょうか。</p>
下水道課主任	<p>下水道普及率については目標に近づく見込みで計画が進んでおりますが、経営状況については難しい状況のなかで少しでも目標値に近づけるように努力してまいります。</p>
委員	<p>「4-4 目標値の設定」について、②経常収支比率の計算式で、本来「経常収支比率」であるところが「経費回収率」になっているように思います。また、②経常収支比率と③経費回収率の現況の数値が全く同じなのでご確認いただければと思います。</p>
下水道課主任	<p>ご指摘ありがとうございます。確認いたします。</p>

議長	他にご質問等はございますか。
委員	—なしの声あり—
議長	議事(3)「その他」を議題といたします。委員の皆様からは何かございますでしょうか。
委員	議事(1)「下水道事業について」のことで申し訳ないのですが、円グラフ「収益的収支の状況(損益計算に関する収益・費用の状況)【税抜】」と円グラフ「資本的収支の状況(建設改良に関する収支の状況)【税込】」は、一般的には収入が左で費用が右になりますのでグラフの左右を入れ替えた方が分かりやすくなるかと思えます。
下水道課長	ご指摘ありがとうございます。また、今回ご質問等をいただきました財政計画や収支などは分かりやすい資料を準備したいと思えます。
議長	他にご質問等はございますか。
委員	—なしの声あり—
議長	以上で議事については、終了しました。それでは、これをもちまして議長の任を降ろさせていただきます。
下水道課主幹	次に、7その他 について事務局よりご説明させていただきます。
下水道課主任	次回以降の審議会について説明させていただきます。第2回審議会につきましては、11月12日(水)午後1時30分から飯能市浄化センター2階会議室にて実施予定となっております。第3回審議会につきましては、12月17日(水)午前9時30分から飯能市浄化センター2階会議室にて実施予定となっております。答申につきましては、1月の中旬ごろに市長応接室にて予定しております。第1回審議会の報酬につきましては、11月5日に振込予定ですので、振込日以降に確認をお願いします。説明は以上です。
下水道課長	使用料が10月1日に改訂されまして現在の状況ですが、問い合わせにつきましては使用料改定の理由や金額の計算方法など10件程ございました。また、使用料改定を周知するために広報はんのうや地区行政センターだよりへ記事の掲載や水道使用料検針時にチラシを配布するなどを行っております。
下水道課主幹	委員の皆様からは何かございますでしょうか。
委員	—なしの声あり—
下水道課主幹	以上をもちまして、本日予定しておりました議事は全て終了となります。

議事の内容・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。

令和 年 月 日

議長の署名 _____